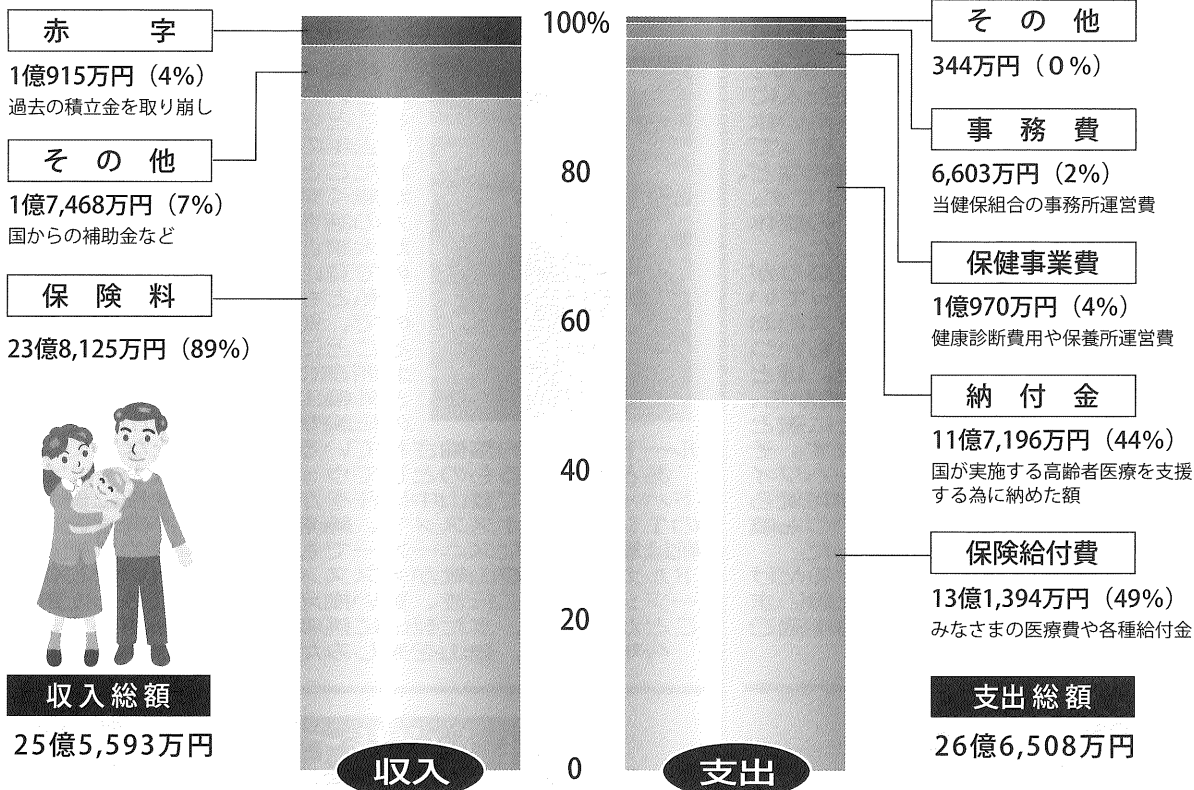


平成30年度決算まとまる

勝又健康保険組合 収支は 1億915万円の赤字



収入総額
25億5,593万円

支出総額
26億6,508万円



○保険証を大切に、退職時には必ず返しましょう
○保険給付支給通知書は大切に保管しましょう
○医療費控除を受ける時
必要になります。

介護保険
介護保険については、介護納付金が概算納付金として2年後に精算されることになっており、年度納付金は、対前年度比3.2%増となりました。本年度は、742万円の収入不足(赤字)となりました。収入不足分は、支払準備金(積立金)を取り崩し充当しました。尚、支払準備金については納付金の1ヶ月分相当を積み立てる事になっており、保有水準を満たしております。

収入	2億83万円
介護保険料収入	1億9,794万円
国庫補助金・雑収入	289万円
支出	2億2,825万円
介護納付金	2億2,825万円
収支差引	2,742万円
支払準備金(取崩し)	2,742万円

◆被保険者数などの減少により保険料は2%の減収
平成30年度における当組合は、被保険者数が前年度から34名減少しました。
被保険者数とともに保険料に影響する総標準賃与額は10.8%の減少、平均標準報酬月額が前年比1.5%増加となりました。
その結果、保険料は前年度に比べ2.2%の減収となりました。
◆保険給付費は4%増加、納付金は10.8%減少
一方、支出面では、保険給付費が前年度比5、208万円(4.1%)の増加となりました。
高齢者医療費に対する各種納付金は前年比1億3、713万円(10.8%)の減少となりましたが、これは後期高齢者支援金が前年比686万円増加したものの前期高齢者納付金が前年比1億1、794万円、退職者給付拠出金も前年比2、605万円の減少したことによるものです。
その結果、保険給付費と納付金の合計額は保険料の104.5%となりました。
◆収支は1億915万円の赤字(27年度から4年連続)
支出では保険給付費の増加、高止まりする高齢者医療費に対する納付金、収入では保険料の減収、国からの補助金5、818万円(33.3%)減少が影響しました。
その結果、30年度収支は、1億915万円の赤字になりました。
当健保組合の財政は、27年から積立金を取り崩しての運営を余儀なくされてきました。今後も納付金や高額治療薬の保険適用などによる保険給付費の増加により、赤字額が恒常的になっており依然厳しい財政状況が続いております。
◆納付金の負担が依然財政を圧迫
健康保険組合連合会の令和元年度予算の集計結果では、経常収支で98.6億円の赤字を計上し、赤字組合は全組合の6割超となっています。高齢者医療に対する納付金は、今後団塊の世代が75歳に達しはじめる2022年には、000億円もの大幅増加が見込まれ、健康保険組合の財政を圧迫する事から、社会保障の制度改革が急務となっています。
私たち健康保険組合では、保険給付費の支出を抑えるべく、みなさまの健康維持・増進に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

1.収入の部 (単位:万円)

科目	決算額	内容
掛金等収入	45,462	加入員・事業主からの掛金
運用収益	20,816	資産を運用して得た収益金
特別収入	25	過年度分の年金戻入分
別途積立金取崩金	43,122	別途積立金を取り崩した額
計	109,425	

2.支出の部 (単位:万円)

科目	決算額	内容
年金給付費	53,363	当年度に支払った年金・一時金の額
移換金	578	退職者の一時金相当額を他の年金制度へ支払った額
信託報酬等	7,199	信託銀行等に手数料として支払う額
責任準備金増加額	48,285	将来の年金に必要な積立金の前年度からの増加額
計	109,425	

運用環境につきましては、米国株の急落と共に日経平均株価もことあるごとく急落し、決して甘い状況ではありませんでした。今後につきましては同じような状況が続くとみられますので、当基金といたしましては、引き続き長期的な視点に立って年金資産の収益向上に努めてまいります。皆様のご協力をお願い致します。
なお、平成31年3月末の基金の時価総額は102億3,000万円という結果でした。

勝又企業年金基金

当基金の資産運用利回りは時価ベース利回り1.55%となり、予定利率の2.50%を下回った結果、4、230万円の当年度不足金を計上することとなりました。これにつきましては、別途積立金より取崩しを行いました。また、平成30年3月31日付で財政再計算(年金財政の健全性を維持するため、5年ごとに現行の計算基礎を見直し、掛金の変更の要否を検討することです。)を行った結果、責任準備金が増加したため、別途積立金を3億8,892万円取崩しを行いました。合計4億3,122万円の取崩しを行い、別途積立金は2億5,000万円となりました。

ジェネリック医薬品を使っていますか?

千葉県内の使用率は76.6%

現在、約7割以上の方が既にジェネリック医薬品を使っています!

私も使っています

ジェネリック医薬品は...

- お財布にやさしい! 新薬と比べて3~5割程度お薬代が安くなる場合があります
- 安心! なお薬です 国が認可したお薬だけが販売されます
- 変更! は簡単! 希望するだけ! お手続きは簡単です かかりつけの医師・薬剤師にご相談ください

千葉県 | 健保連千葉連合会 | 協会けんぽ千葉支部

健保組合からのお知らせ

■年末年始(12/28~1/5)の保養所の予約は“9月1日(日)9時30分”からです。受付 043-227-2125